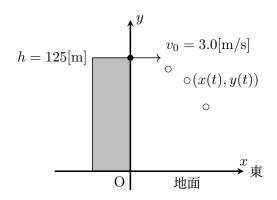
1. 水平な地面に立つ高さ $h=125[\mathrm{m}]$ のビルの屋上から,質量 m のボールを,速さ $v_0=3.0[\mathrm{m/s}]$ で水平かつ真東に打ち出した.このボールの運動を予測したい.下図のように地面に原点をとった 2 次元デカルト座標系を設定し,打ち出してからの時間を $t[\mathrm{s}]$ として,ボールの位置ベクトルをこの座標系で $r(t)=(x(t),y(t))[\mathrm{m}]$ と書くことにする.以下の問に答えなさい.ただし,ボールに対する空気の影響は無視できる.問 (1) と問 (2) の答えには,なるべく数値を使わずに文字を使いなさい.問 (3) と問 (4) の数値の答えには,重力加速度の大きさ g=10 $[\mathrm{m/s}^2]$ を使いなさい.

担当:井上 貴志



(1) 問題文で用意された座標系と函数を使って、打ち出されてから地面に着くまでの間のボールの運動方程式とボールの初期条件を書きなさい.

地面に着くまでにボールにはたらく力は重力のみである. 従って, 地面に着くまでの間のボールの運動方程式は次である.

$$m(\ddot{x}(t), \ddot{y}(t)) = (0, -mg) \quad \Leftrightarrow \quad \begin{cases} m\ddot{x}(t) = 0 \\ m\ddot{y}(t) = -mg \end{cases}$$

時刻 t=0 には、ボールは位置 (0,h) におり、かつ、速度が $(v_0,0)$ だったので、初期条件は次である.

$$x(0) = 0, \ y(0) = h \Leftrightarrow \dot{x}(0) = v_0, \ \dot{y}(0) = 0$$

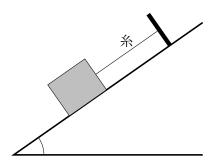
- (2) 問 1 の方程式と条件を解いて、空中に飛んでいるボールの**運動**、つまり、函数 x(t) と y(t) を答えなさい.
 - (1) の運動方程式より, $A \sim D$ を任意の定数として,函数 x(t) と y(t) が次の様に,一旦,無数に求まる.

$$\begin{cases} m\ddot{x}(t) = 0 \\ m\ddot{y}(t) = -g \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} x(t) = At + B \\ y(t) = -\frac{1}{2}gt^2 + Ct + D \end{cases}$$

- (3) 打ち出してから 2.0[s] 後のボールの位置と速度を答えなさい.
- (4) 問題のボールが地面に衝突する時刻と位置を答えなさい.

担当:井上 貴志

2. 水平から角度 23° のなめらかな斜面に,質量 $m=5.0[{
m kg}]$ の小物体が糸が引かれて静止している.糸と斜面は平行である.糸が小物体を引く力 T の大きさ T と小物体にはたらく垂直抗力 N の大きさ N を,適切な単位で答えなさい.途中の説明には図の書き込みを併用してよい.必要があれば, $\sin(23^\circ)=0.39$, $\cos(23^\circ)=0.92$ を使ってよい.重力加速度の大きさは $g=10[{
m m/s}^2]$ とする.



3. 質量不明の小物体を地面から $v_0=15[\mathrm{m/s}]$ である角度に打ち出すと,最高点の地面からの高さは $H=10[\mathrm{m}]$ であった.物質の最高点での**速さ** v を答えなさい.重力加速度の大きさは $g=10[\mathrm{m/s}^2]$ とする.空気の影響は無視できる.

担当:井上 貴志

担当:井上 貴志

- 4. 次の文章のカッコに適当な単語を埋めなさい.
 - (1) 電車に乗っていると、減速中に上半身を進行方向に押し付けられるように感じる.この力は()と呼ばれるが、本物の力ではない.実際、この現象を地面を基準に考えると、身体は等速度を続けようとする(慣性の法則)に、電車の床に着いている足だけが電車と共に減速するから、上半身が前のめりになるだけなのである.このような見かけの力であっても、() 座標系を採用して運動を調べる場合に役に立つ.
 - (2) 物体の軸の回りの回転運動を考えるときは、力よりも()と呼ばれるベクトルの方が便利である.
 - (3) このベクトルの大きさは、力の大きさの他に、軸から力の作用点までの()にも 比例する.

担当:井上 貴志

5. 授業や試験の感想,要望,文句,その他,何でもよいので書きなさい.